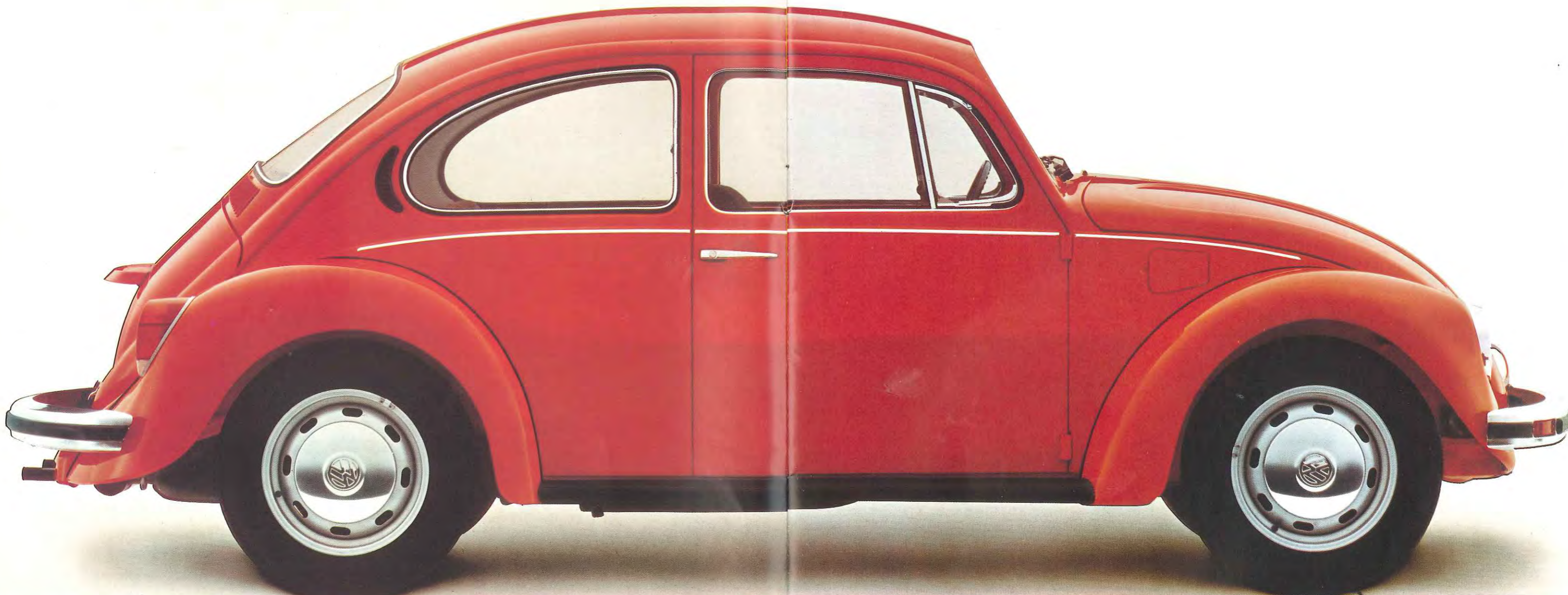


いもだけを世界から

'78

● ●
VW VOLKSWAGEN
Beetle



かぶと虫。仲間が多ければ 多いほど、楽しいものです。

1972年2月17日は、かぶと虫が世界チャンピオンの座についた日です。15,007,034台目のかぶと虫がラインオフ、単独車種の総生産台数で、世界記録を樹立しました。もちろんこれでかぶと虫の生産が終りになったのではありません。この数字は毎日毎日増えつづけ、すでに2000万台(1977.2現在 西独自工会調べ)以上のかぶと虫が生まれました。
誕生後40余年、かぶと虫は年々近代的な技術が採り入れられ、20万回以上の改良が積み重ねられてきました。

今年の新しいかぶと虫をご紹介します。78年モデルのかぶと虫は、もちろん、もっとも新しい、もっとも進歩したかぶと虫です(毎年生まれるニューモデルがそうであるように)。今年、日本に入ってくるかぶと虫は、2種類。大変たくましい1.6ℓエンジンを載せ、機能的な装備をもつ1200LEモデルと、オープンカーのかぶと虫——1303LEコンバーチブルです。1200LEモデルは、伝統の空冷4気筒エンジンの中でも、もっとも強力な1.6ℓ、48DIN馬力フュエル インジェクション エン

ジンを搭載。もちろん、リヤ エンジン、リヤ ドライブです。最高巡航速度も130km/h。スピード制限のないドイツのアウトバーンを、このかぶと虫は最高速度のままで、ガソリンのある限り、道の続く限り走りつづけます。
かぶと虫が世界中に住みついた大きな理由の一つは、そのたくましい足にあります。生れた時からもち合わせた4輪独立のサスペンションは、年毎に改良され、ますますたくましくなっています。1200LEは前後にトーションバーと、収縮巾の大きい

ショック アブソーバー、さらにリヤにはイクォーライザー スプリングを装備し、大きなタイヤでどんな悪路もスムーズに、力強く走ります。
雨風に耐え、何年も色のあせない入念塗装のボディ、水にも浮くほど精度の高い気密ボディ。長い伝統の中でつちかわれて来た、確かなメカニズム。かぶと虫が世界チャンピオンの座を守りつづけるのは、当然すぎるほど当然ですね。



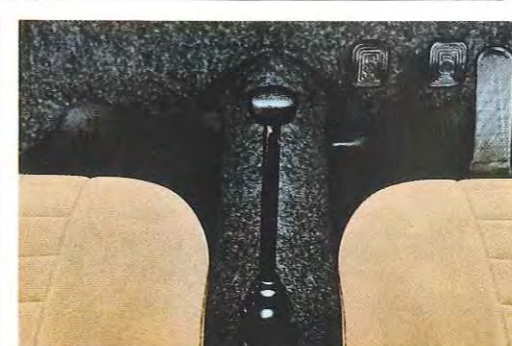
かぶと虫。そのほんとうのよさは一目ではわかりません。

かぶと虫の室内には、隅から隅まで機能的な装備がゆきとどいています。なに一つみせかけだけの飾りはありません。けれど、走るために大切なものはすべて備わっています。たとえば、快適さということについて。この点でもかぶと虫はこのクラスの多くの車に一步先んじています。シートはまるでアームチェアのようなものです。まあ一度、おかけになってみてください。スプリングの具合がほどよく、バックレストはお好きな位置に調節できるフル リクライニングです。

運転席におかけになった具合はいかがですか。ステアリング コラムは衝突時にも運転席に突き出してこない安全設計です。安全対策にふれたついでにご説明しますと、かぶと虫のブレーキは、二回路になっていますから、万一、一方の回路が故障しても、他の回路の働きで安全性が確保できます。さて、運転席からまわりを見渡してください。かぶと虫には、なかなか便利な装備がいくつもあるのにお気づきになるでしょ

う。コートフック、吊り皮、アームレストなど。リヤシートのバックレストも前に倒せることをご存知でしょうか。そうすれば、フロントシートの後は、全部が大きなトランク ルームになります。いかがです、奥さまと世界一周旅行をお試しになっては。リヤのバックレストをもとに戻すと、そのうしろにも手荷物をしまし、ちょうど手ごろなスペースがあります。かぶと虫のほんとうによいところというのはなかなかご理解い

ただけなくて残念なのです。簡単にいえば、例外的ともいえるほど、仕上げのよい点です。お求めになった時から、何万キロもお乗りになった後でも、もうこれとって目新しく感じることもない、けれども、なおいっそう愛着が深まるばかり。それというのもこの仕上げのよさのせいなのです。かぶと虫のよさは、一目見ただけではわかりません。次第にそのよさが出てくる、それがかぶと虫という車です。



【日本に輸入される車輛は仕様の一部異なります】

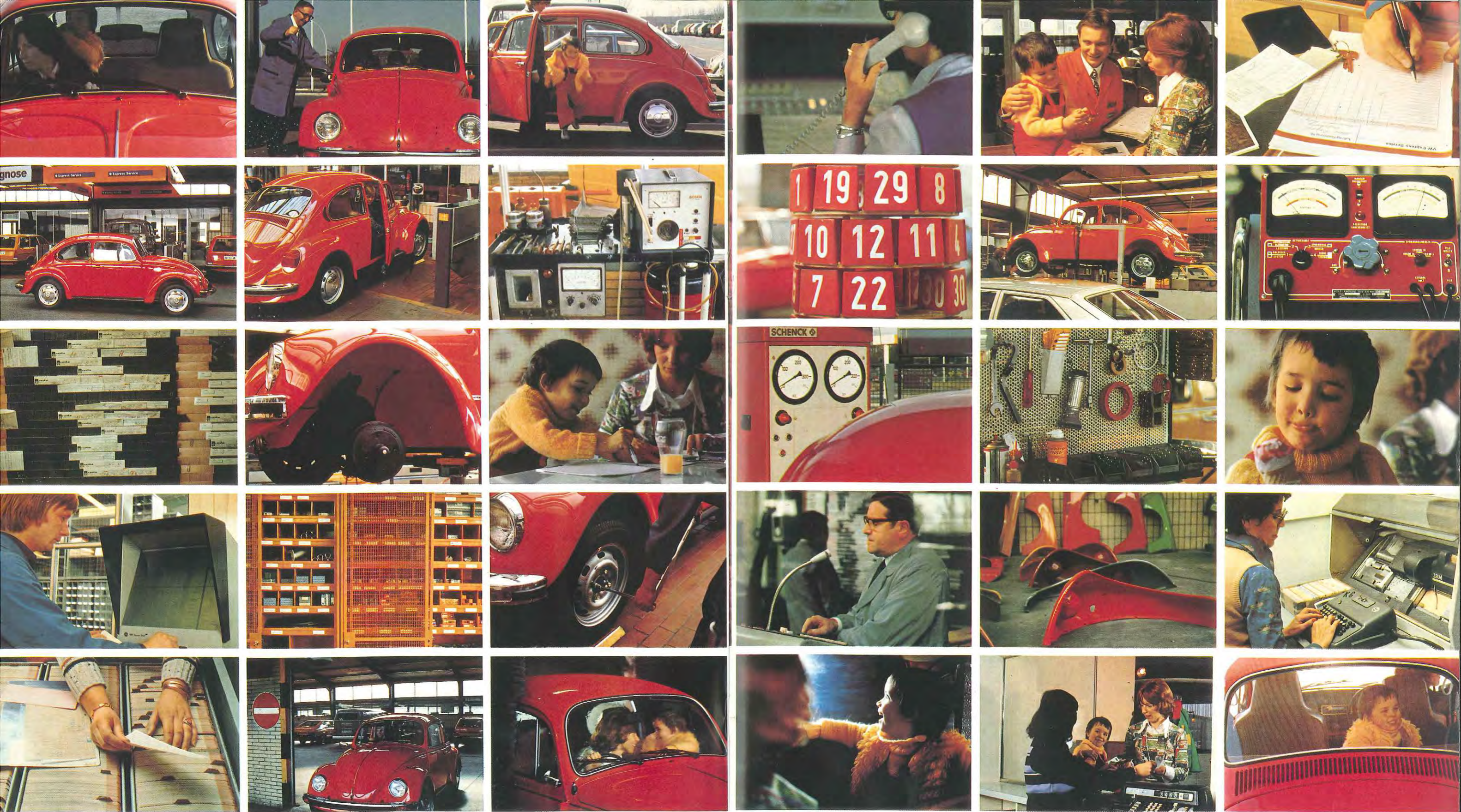
かぶと虫。西ドイツのクラフトマンシップがすみずみに行届いています。

運転席におかけになったまま、ちょっと前をごらんになって見てください。あなたの目の前の道路が、一望に見渡せるでしょう。そして目の前、インストルメントパネルには、運転中に必要なすべてのデータが一目で読みとれる大きなコンビネーションメーターがあり、その中にはさまざまな指示灯や警告灯が組込まれています。油圧警告灯、ヘッドライトのビーム、方向

指示灯やイマージェンシーライトの点滅などです。通常、走っている間に気づくのは、スピードメーターの針と走行距離メーターのスムーズな動きだけです。あなたの目の前では、たいしたことは起きていませんが、あなたのうしろ、エンジンルームではエンジンが大活躍しています。空冷4気筒の水平対向フュエルインジェクションエンジンは1分間に4000回

転以下に押さえられ、かぶと虫独特の低速回転で、最高48馬力(DIN)を発揮します。凍結したり、オーバーヒートしたりする心配のない、空冷エンジン、灼熱の砂漠も厳寒の極地も意に介さないかぶと虫の心臓です。また室内は2スピードのフレッシュエア/ヒーターブローにより、暖房と曇り止めのためのフレッシュエアが送りこまれ

ています。かぶと虫のエンジンは、信頼性、耐久性、経済性のお手本として知られています。いままでに何と2200万という途方もない数の、このかぶと虫と同じエンジンがつくられました。この独特のエンジンをリヤに載せて、これからもかぶと虫は、地球のすみずみまで走り続けるのです。



かぶと虫。頼りになるサービスと、純正 パーツがいつまでもバックアップしています。

車の信頼性が高いということはどういうことでしょうか。一口でいえば故障が少ないということです。機械は部品が増えれば増えるほど故障の可能性が高くなるものです。例えば宇宙ロケットのような複雑な機械になれば、それぞれの部品の精度をよほど高くしないと故障のもとになり

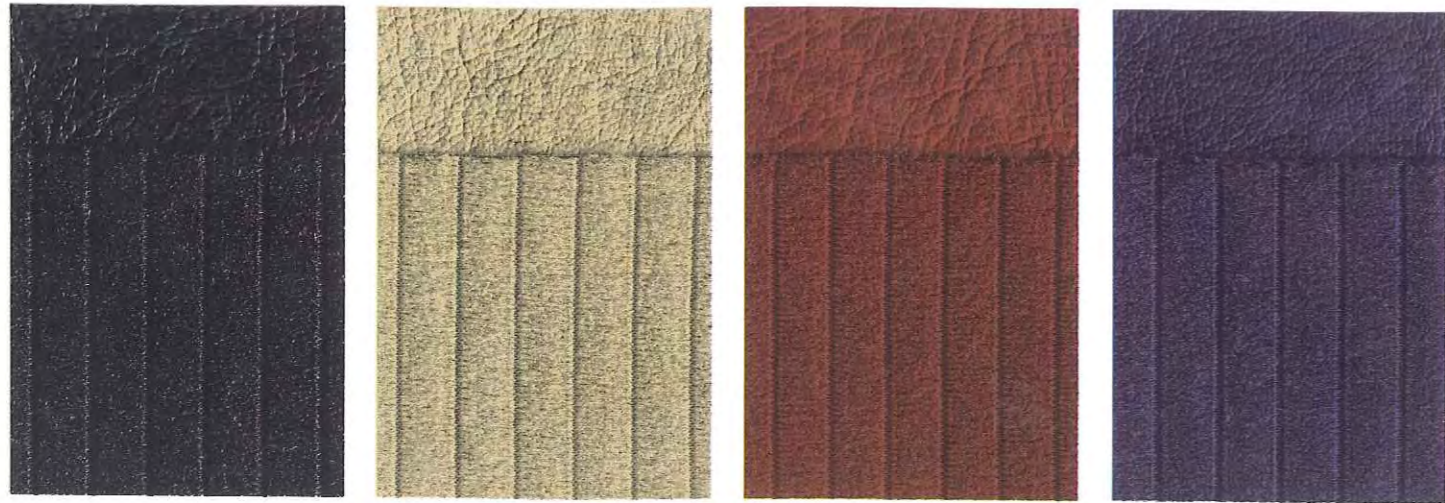
ます。9ケタの9を並べた精度が必要といわれるわけです。かぶと虫が本質的に必要なもの以外は極力つけないようにしているのは、こうしたことからです。あとから、部品が必要になったりした場合でも、数が少なければ少ないほど、たっぷりとパーツを揃えて、オーナーの方にご迷惑をおかけしない体制が

つくれます。それにかぶと虫はモデルチェンジをしないので、古いモデルの車にも、新しいモデルの部品が間にあうものがたくさんあります。ヤナセは、横浜と小牧の両デポーに、フォルクスワーゲン社の規定に従って、これから何年先までもオーナーの方に安心して

お乗りいただけるだけのパーツを揃え、全国200ヵ所以上のサービス拠点を通じて供給し続けます。すべてのフォルクスワーゲンには、いつまでも大きな安心がついています。

カラー チャート

■内張り



ブラック — — 03 パーチメント — — 04 タバコ — — 08 マリーン ブルー — — 09

■内張りとボディ カラーの組合せ

ボディ カラー	内張り			
	リヤド イエロー	マイス レッド	マイアミ ブルー	アルビン ホワイト
リヤド イエロー	●			
マイス レッド		●		
マイアミ ブルー			●	
アルビン ホワイト				●

☆表の●印のボディ カラーと内張りの組合せが標準仕様となります。
 ☆ボディ カラー、内張りのカラーは、印刷インキの具合で実際の色と多少違って見えますので、ご了承ください。
 ☆ボディ カラー、内張りに関し、このカタログでご不明の点は、フォルクスワーゲン販売店にお問合せください。

お好みの色をお選びください

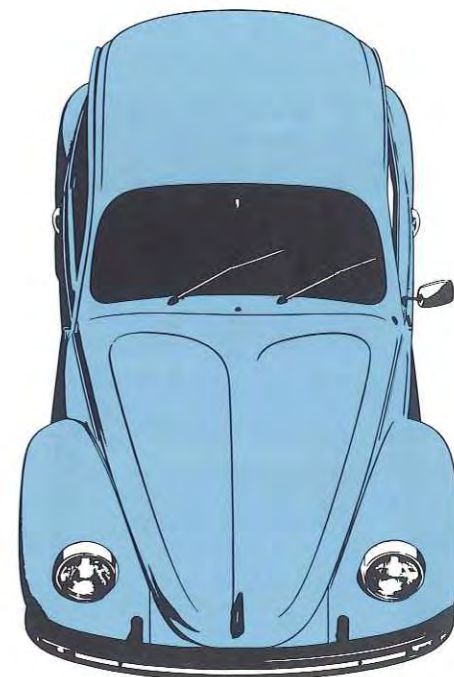
■ボディ カラー



リヤド イエロー B4 B4 —



マース レッド G6 G6 —



マイアミ ブルー K2 K2 —



バリ グリーン M5 M5 —



アルビン ホワイト PI PI —

諸元表

	1200 LE 2Dr.
●型式	A-11AJ型
●寸法・重量	
全長	mm 4,090
全巾	mm 1,550
全高	mm 1,505
ホイールベース	mm 2,400
トレッド 前/後	mm 1,310/1,315
最低地上高	mm 145
車輻重量	kg 830
乗車定員	名 5
●性能	
最高巡航速度	km/h 130
登坂能力	tan θ 0.41
最小回転半径	m 5.3
●エンジン	
型式	AJ型
種類	水平対向4気筒空冷リヤエンジン
内径×行程	mm 85.5×69.0
総排気量	cc 1,584
圧縮比	7.3
最高出力(DIN)	HP/rpm 48/4,000
最大トルク(DIN)	kgm/rpm 10.2/2,800
燃料タンク容量	ℓ 40
使用燃料	無鉛
●諸装置	
クラッチ	乾燥単板コイルスプリング
トランスミッション	前進4段、後退1段1、2、3、4速オールシンクロメッシュ
変速比	第1速 3.778 第2速 2.059 第3速 1.260 第4速 0.931 後退 3.778
最終減速比	3.875
フロントサスペンション	トレーリングアーム
リヤサスペンション	トレーリングアーム
ブレーキ 前/後	ドラム/ドラム
使用タイヤサイズ	5.60 15-4PR

標準装備

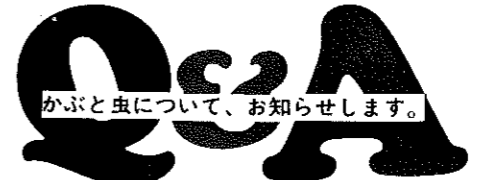
ミッション	前進4速・後退1速マニュアル
タイヤ	5.60-15-4PRタイヤ(コンチネンタル)
バッテリー	12V45A
ヘッドランプ	バルブタイプ丸型ヘッドランプ
シート	アジャスタブルヘッドレスト付フルリクライニングフロントシート
	シート内張り:ウーブンベロア
シートベルト	前席:イナーシャータイプ3点式 後席:2点式
計器盤	スピードメーター
	メーター照度調節スイッチ
オーディオ	AM/FMラジオ
空調	2スピードフレッシュエア/ヒーターブLOWER
ドア	アームレスト
天井クォーター	オールレザー張り
スモークング	前後席灰皿
その他	クラブハンドルコートフック
	前席サンバイザー
	グローブボックス
ウオーニング	CAT(排気温度異常上昇警告灯)
	非常点滅表示ランプ
	油圧警告ランプ
	充電警告ランプ
	二回路式油圧ブレーキウオーニングランプ
ガード	ラバーモール付クロムバンパー
	衝撃吸収ステアリングホイール
	パデッドダッシュボード
ブレーキ	バンパープロテクティブカバー(リヤ)
	デュアルサーキットブレーキ
その他	ドラムブレーキ
	熱線式リヤウインドー
	脱落式防眩インナーミラー
	セフティセル構造ボディ
スピード警告装置	
機能性	三角窓

安全対策

事故を未然に防ぐための安全対策
●二回路式のブレーキシステム。

事故による被害を少なくするための安全対策
●フロントとリヤは衝撃を吸収する、いわゆるコラプシブルゾーン構造で、前後からの衝撃が加わっても、車室へ及ばない構造になっています。車室は、堅牢なドアピラー、ルーフのクロスメンバー等によって頑丈に補強された、セーフティセル構造です。
●ステアリングコラムは、フロントから衝撃を受けた場合、中間で短縮され、室内に突出することを防ぎます。
●くるまの両側面は、堅牢なサイドドアで守られ、精巧なドアヒンジ、ドアロックにより、あらゆる方向からの衝撃にもドアが開かないように設計されています。
●フロントシートに3点式シートベルト、リヤに2点式シートベルト2座席分を装備しています。

●本仕様は予告なく変更される場合があります。
●道路運送車輛法に基づく保安基準に適合させるため、ミラー、ヘッドレスト、灯火類改善指示によって行なわれる改造により、納入車輛はカタログに記載された写真と一部異なる場合がありますのでご了承ください。詳しくはもよりのフォルクスワーゲン販売店にお問合せください。
●ヤナセが日本に輸入する車は、安全対策および排気ガス対策の点で現行の国内基準をすべて満たしています。



かぶと虫は、なぜ車の原点なのか。

Q かぶと虫のエンジンは、なぜ丈夫で長持ち。

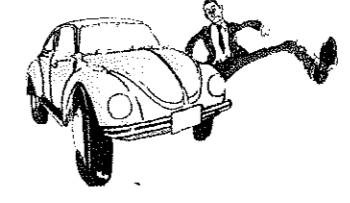
A タフが身上、かぶと虫の心臓部。
かぶと虫のエンジンは、低速回転で大きなトルクを出し、意識的に回転を押えています。つまりエンジンに負担がかかりません。最大トルク時でも回転数は2800rpm(VW1200LE)。ピストンとシリンダーとの摩擦が少なく、経済性、耐久性に優れています。しかも、かぶと虫の心臓部はマグネシウムとアルミニウムの合金製。アウトバーン242万kmの走破によって、その頑丈さが証明されています。

査官がいます。ほんのわずかのミスも許しません。この人たちがチェックする箇所はどこか1ヵ所でも不合格ならば、例え最終工程であっても、そのかぶと虫はスクラップ行き。少し厳しすぎるようですが、永遠の信頼を獲得するために、あるいは安全性などを考えると当然です。

同時に摩擦度の低下につながり、タイヤの持ちが大きく違ってくる。またブレーキドラムも大きくなり制動力もぐんと強くなっていきます。少々スタイルが良くなっても、合理性、安全性を考えると足は大きいほどいいのです。



ピソードを生んだようです。また長い間走ってもドアのガタつきがないのは抜群の気密性を物語ります。

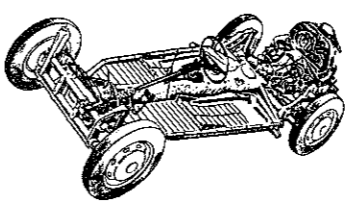


Q かぶと虫の底板は、なぜ一枚板か。

A かぶと虫のお腹は、鋼鉄製の一枚板。
いわゆるプラットホームシャーシのことですが、こうなると車というよりも、船を思わせます。他の

Q かぶと虫のエンジンは、なぜ空冷か。

A かぶと虫は、空気を吸って心臓を冷やす。
きびしい暑さ寒さにも涼しい顔の空冷方式。どんな寒い日でもウォーミングアップなし。セル一発でスタート、オーバーヒートもありません。その性能は赤道から北極まで走りぬぐ実力を秘めています。また、リヤエンジン、リヤドライブの駆動方式。プロペラシャフトによるパワーのロスなくしています。



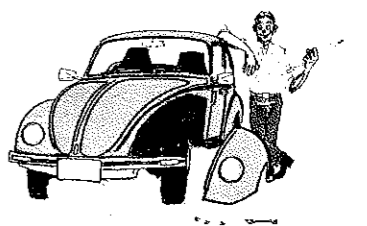
車なら、外にさらされている大事な部分を、頑丈なトンネルに保護されています。かぶと虫は、石や泥、車を傷つけるものにも平気です。車の寿命に差をつける鋼鉄の1枚板。目立たないところに、思い切ったアイデアを起用する、かぶと虫のひとつの姿勢です。

Q かぶと虫は、なぜモデルチェンジしないか。

A 永遠のスタイルで生まれた車
かぶと虫は、モデルチェンジのためのモデルチェンジをしません。それはデザイン面から、機能面から厳しくチェックした結果、これ以上変えようがないという結論に達しているからです。最も合理的な、車として過不足のないスタイルは、言うまでもなく車の原点なのです。モデルチェンジしないつまり、かぶと虫は何年たっても新型ということですよ。

Q かぶと虫の修理は、なぜ簡単なのか。

A 修理は合理的。フェンダーはボルト締め。
万一、かぶと虫のフェンダーがへこんでもボルト10個ですぐとり変えられます。叩きだすこともできますが、かぶと虫の鋼板の固さは噂どおり、実にタフです。むしろとりかえた方が安上がりの場合が

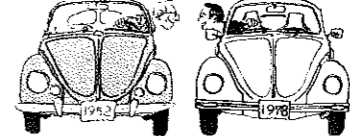


Q かぶと虫は、なぜ信頼されているか？

A 「ダメ」のひとりでスクラップ行き。
かぶと虫の工場には、数多くの検

Q かぶと虫の足は、なぜ大きいか。

A このボディサイズで15インチの大型タイヤ。
かぶと虫のタイヤは15インチ。コンパクトな車体と比較するとちょっと大きめですが、それなりに理由があります。まず、大きなタイヤは小さなものより、少ない回転数で同じ距離を走れるからです。



多いようですよ。またかぶと虫のパーツは豊富。いつでもスピーディに交換に応じられる体制になっています。

Q かぶと虫が、水に浮くという噂はほんとうか。

A かぶと虫の気密性は抜群。ドアのガタつきもなし。
かぶと虫はドアの部分、ウインドウの部分が、きっちり結合するよ

